

I. はじめに

- 1.人口減少開始。今迄の延長線上では無い新しい社会の創造への強い意識が必要
- 2.今後50年間、総人口減少率より生産年齢人口減少率が高い状態が続くなかで労働力を確保するためには、生産性の向上や女性・高齢者・外国人材の活用などが必要であるが、様々な解決策を検討し複合的に取り入れることが肝要



II. 考察と課題：人口減少下でも豊かな日本である為に

- 1.過去(人口増加)：第1次産業 ⇒ 第2次、第3次産業へ就労人口構成が変化。
- 2.現状
 - (1) 第1次産業：経営改革、収益力の向上、担い手確保
 - (2) 第2次産業：人材流動化を支援する施策、高付加価値製品開発・新技術を担う人材不足
 - (3) 第3次産業：高齢化に伴い拡大するサービス業(医療／介護等)、担い手確保
 - (4) 日本独自の新たな産業分野(コンテンツ、日本が得意とする生産技術の他産業への応用等)の開拓
- 3.今後(人口減少)：高度成長／拡大路線から豊かな成熟社会へ
 - ・潮目が変わり変革が必要な日本の社会
 - ・『人材の確保』と『高付加価値化』が必要
- 4.人口減少下においても豊かな日本である為に克服すべき課題
 - (1) 『質重視』の『高付加価値化』へ
 - ① 全ての産業分野で『イノベーション』が必要
 - ② 『イノベーション』創出の為に
『イノベーション』⇒『異質との接点／多様性の受容が必要』⇒『真の国際化社会』を創り上げることが必要
 - (2) 担い手の確保と産業構造の変化に対応した人材流動の必要性



III. 提言：外国人材との共生により人口減少を乗り越える

- ▶ 人口減少社会下では各産業に於いてイノベーションによる高付加価値化とそれを支えるモノづくり技術が必要であり、その為には外国人材との共生が必要
- ▶ 外国人材受け入れ環境改善の為に、国や自治体による法制度の改正と共に企業の意識改革も必要
- ▶ 全国に先駆けて関西自らが取組みを始め、世界へ向けて発信していくことが必要

1. 魅力ある日本への布石

(1) 外国人を巡る現行制度の見直し・改善

- ①外国人の持つ技術の可視化：日本の各種技術・技能検定試験の海外への普及
(「資格(知識)」と「言語能力(日本語)」を分けて考える)
- ②高度外国人材の受入職種を限定しない：現行の職種限定からポイント制導入を検討
- ③外国人留学生の日本への定着化：
 - ・就職活動促進(外国人留学生が就職活動中の滞在期間を延長)
 - ・企業が奨学金を共同供出／留学生情報を共有出来る仕組みの検討
- ④外国人材向け一括相談窓口の設置：
 - ・バラバラになっている外国人材対応窓口等の一本化による利便性向上
- ⑤グローバル化に対応する国際人事戦略の構築・実行：
 - ・企業に於ける人材のグローバル化・多様化を推進
- ⑥人材流動性を高め長く定着出来る為の施策

(2)外国人の生活基盤

- ①地域ボランティアの外国人子女教育への参加を促進：
 - ・教員免許を持たないが言語能力を持つボランティアが教育に貢献出来る仕組みを検討
- ②医療関係の通訳ネットワークの確立：専門的な用語が必要な医療サポート基盤により安心を提供
- ③外国人材の年金・健康保険制度を確立：年金と健康保険を分けて外国人材に生活の安心を提供
- ④外国人居住区モデル地区の設定：外国人と日本人が共生するモデル地区を設定

(3)世界のイノベーションの中心となる総合的環境作り

- ①情報収集・発信組織の設置：
 - ・一貫した外国人材施策を検討、情報収集・発信出来る組織の設置を検討
- ②国内外・産官学の高度人材を惹き付け継続的にイノベーションを創出する総合的環境作りを検討

2. 関西に於ける取組みについて

(1) 世界のイノベーションの中心となる環境作り

(2) 外国人材向け一括相談窓口の設置

(3) 企業が奨学金を共同供出／留学生情報を共有出来る仕組みの構築

(4) 外国人居住区モデル地区を関西に